

施策番号 3-1-4	施策名 消費者の安全安心の確保	基本目標	快適で安全安心な暮らしを支えるまちづくり			
		政策名	安全安心に暮らせる生活環境づくり			
	主管課	商工観光課	課長名	佐藤三舟	内線	411
	施策関係課	住民生活課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図					結果	
消費者被害の防止や食の安全安心に向けた体制づくりをすすめます。		町民	消費者の被害防止及び食の安全安心の確保					町民が安全で安心して暮らせる日常生活の確保	
成果指標	説明	単位	23年度(策定時)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)	
① 消費者相談処理件数	芽室消費者協会相談処理件数	件	192	170	195	200	200	200	
②									
③									
成果指標設定の考え方	消費者トラブルを未然防止のための相談と消費者トラブル後の相談件数を踏まえ、きめ細やかな相談体制を維持する必要があることから成果指標に設定。								

2. 施策の事業費

	26年度決算	27年度決算
施策事業費(千円)	5,457	5,818
人工数(業務量)	0.2567	0.0731

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①平成27年度の成果評価(前年度比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	消費者被害未然防止の関係機関と連携した啓発活動や相談体制の充実を図ったことにより、相談処理件数は前年度より伸びており、それに伴いトラブル上の救済した件数及び金額も増加した。
②平成30年度の目標値達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	相談員の研修等による資質の向上、法律相談窓口の設置による相談窓口の更なる充実強化を図る。被害を未然防止するため、諸団体と連携し情報収集や啓発活動に努める。
(2) 施策の成果評価に対する平成27年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	芽室消費者協会運営支援事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	消費者を取り巻く環境は、複雑多様化しており、特に高齢者を狙った特殊詐欺が後を絶たない状況にある。そうした中で、消費者が安心して暮らせる環境づくりのため、芽室町消費者協会への支援を実施し、相談体制、啓発業務の充実強化を図っている。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

	A	B	C	D	E
進捗結果			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	スマートフォンやタブレット端末の普及により、幅広い年代でSNS利用の消費者トラブルが増加している。
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	消費者被害防止や日常生活の相談業務・啓発活動の充実強化

5. 施策の課題認識(現状の課題、新たに取り組むべき課題)

消費者の安全安心の確保のためには、消費者協会に委託している消費生活相談業務を引き続き継続していく。また、相談体制の強化のため、研修等を実施するための支援を継続していく。
--

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	消費者への啓発活動等の支援を実施し被害防止に寄与しており、施策として前進していると評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	今後も継続して消費者協会等連携を図ってほしい。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	施策として前進していると評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ●若い人もSNSを利用した犯罪の被害にあっている。 ●銀行振込型からコンビニ支払い型の詐欺に変化しつつあり、より高度で複雑化している。 	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					